

<h1 style="margin: 0;">県協会だより</h1>	<p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">第 47 号</p> <p>令和 4 年 11 月 7 日 発行</p> <p>鳥 取 県 バドミントン協会 総務本部総務部</p>
------------------------------------	---

## 中国地区レディース選手権大会、中国地区シニア選手権大会が開催されました

事業本部長 濱橋 喜幸

日頃は当協会事業にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2022年度当初はまだまだコロナウイルス感染症拡大が続いておりましたが、ウイズコロナに舵を取り直したことで、鳥取県内では中国大会が2大会開催されました。5月28日から5月29日にかけて「第39回中国地区レディースバドミントン選手権大会年齢別対抗・クラブ対抗」が米子産業体育館で鳥取県レディース連盟のご協力で開催されました。また、10月21日から23日までの3日間、「第23回中国地区シニアバドミントン選手権大会」がヤマタスポーツパーク鳥取県民体育館で開催され、多くの鳥取県選手に参加頂きました。今大会では、鳥取県選手の活躍が多く目の見られ、たくさんの選手が入賞され表彰されました。中国地区シニア選手権大会の結果と上位入賞された選手の写真を抜粋ではありますが掲載いたしますのでご覧ください。選手の皆さまのご健闘を称えとともに、大会運営にご協力くださいました皆さまに心より感謝申し上げます。

**第23回中国地区シニアバドミントン選手権大会結果**

					2022.10.21-23 ヤマタスポーツパーク(鳥取県民体育館)						
種目	優勝	準優勝	三 位	参加数	種目	優勝	準優勝	三 位	参加数		
30男子単	湯谷 亮介 (鳥取県)	末吉 健志 (鳥取県)	石原 大資 (山口県)	平下 徹 (広島県)	37	60男子単	田村 昌之 (岡山県)	安田 央 (岡山県)	子川 桂二 (岡山県)	松下 泰司 (鳥取県)	11
30男子複	花本 大地 出石 哲也 (鳥取県)	藤原 勇也 仁島 拓哉 (鳥根県)	徳丸 達也 上原 大樹 (鳥取県)	田中 悠貴 青見 将吾 (山口県)	30	60男子複	佐藤 一郎 安田 央 (岡山県)	山村 和夫 笹口 浩基 (広島県)	河村 則彦 藤田 進 (山口県)	石賀 康史 田村 昌之 (岡山県)	15
30女子単	湯谷 佳菜 (鳥取県)	小田千恵子 (広島県)	古小路 唯 (広島県)	藤岡 久美 (広島県)	6	60女子複	井下由紀子 松原 春美 (広島県)	竹岡千代美 柿原 智子 (広島県)	山根 千晶 岩田 君代 (鳥根県)	稲田 阿美 竹川 佳子 (鳥取県)	12
30女子複	治部 りか 原田 由貴 (岡山県)	川地 裕美 指方 麻希 (広島県)	藤岡 久美 古小路 唯 (広島県)	湯谷 佳菜 伊藤 由佳 (鳥取県)	5	60混合複	小田 和範 川上ゆきみ (山口県)	福井 政夫 松原 春美 (広島県)	講井 起真 池田 素子 (山口県)	田淵 律典 田淵 雪江 (鳥取県)	12
40男子単	花本 大地 (鳥取県)	下前 陽平 (広島県)	吉川 心史 (山口県)	岡山 敬 (岡山県)	31	65男子単	佐藤 一郎 (岡山県)	浜名 利之 (広島県)	山本 正 (鳥根県)	角田 秀行 (広島県)	15
40男子複	森永 敬宣 渡邊 和人 (山口県)	真木 宏之 田中 敬 (岡山県)	森 昭暢 村上 勝二 (広島県)	吉川 心史 小田 達也 (山口県)	34	65男子複	畠中 弘司 原田 栄一 (山口県)	林 栄植 向井 健次 (広島県)	田村 敦 福田 光博 (山口県)	山本 正人 栗村 敏正 (鳥取県)	12
40女子単	日野石智子 村上 恵 (広島県)	中村 恵子 小田千恵子 (広島県)	本山 奈緒 村上真由美 (広島県)	井手 久恵 高橋 綾子 (岡山県)	28	65女子複	角 美智子 平河 千鶴 (広島県)	藤田みどり 関城 聖子 (広島県)	寺岡 雅美 原田 町子 (広島県)	木村 友子 細木 明美 (鳥根県)	7
40混合複	川田 輝夫 中村 恵子 (広島県)	小久保 陽 日野石智子 (広島県)	広地 伸也 藤原さと子 (岡山県)	森永 敬宣 中村 忍 (山口県)	35	65混合複	原田 栄一 松村美千代 (山口県)	尾之上脩司 藤田みどり (広島県)	武田 要 平河 千鶴 (広島県)	林 栄植 林 美恵子 (広島県)	10
50男子単	日浦 雅樹 (岡山県)	曾我部義之 (岡山県)	坂元 一志 (岡山県)	山本 隆志 (山口県)	20	70男子単	松本 克芳 (山口県)	久山 勇雄 (岡山県)	嘉屋 正志 (山口県)	水崎 敏明 (山口県)	12
50男子複	安藤 義光 高瀬 充広 (岡山県)	三嶋 貴之 森本 秀俊 (鳥取県)	前久保貞見 日浦 雅樹 (広島県)	中本 廣 浜田 一也 (鳥取県)	25	70男子複	花本 一一 伊藤 政美 (広島県)	田中 博美 嘉屋 正志 (山口県)		前田 巧 藤井 雅之 (鳥取県)	9
50女子単	井下由紀子 (広島県)	俵 まり (山口県)	龍田 早苗 (広島県)	宮地 優子 (広島県)	8	70女子複	伏野 礼子 吉野由美子 (鳥取県)	花本 栄子 上田由美子 (広島県)	植野寿美子 古城 周子 (山口県)	出原 和枝 伊藤 典子 (岡山県)	4
50女子複	山下 良依 仁後 清美 (岡山県)	西尾 依美 彦田 美穂 (広島県)	田村 千恵 竹中 英美 (広島県)	川本ゆきみ 村上由美子 (山口県)	28	70混合複	花本 一一 花本 栄子 (広島県)	松本 研一 荒川 幸恵 (山口県)	井原喜代治 板垣 美鈴 (広島県)	坂本 睦義 山本 政美 (広島県)	4
50混合複	安藤 義光 山下 良依 (岡山県)	三好 幸男 山本 典子 (岡山県)	笹口 浩基 清水 博美 (広島県)	仁後 春志 仁後 清美 (岡山県)	28						

## 県協会だより



70 女子複優勝 吉野・伏野選手



30 男子複優勝 花本・出石選手



30 女子複 3 位 湯谷・伊藤選手



60 女子複 3 位 竹川・稲田選手



65 男子複 3 位 山本・栗村選手



30 男子複 3 位 徳丸・上原選手



50 男子複 3 位 中本・浜田選手



50 男子複 2 位 森本・三嶋選手

そして、いよいよ「バドミントンS/Jリーグ2022鳥取大会」が12月4日(日)にヤマタスポーツパーク（鳥取県民体育館）にて開催されます。対戦カードは下記の通りです。

◇ 男子：トナミ運輸 対 金沢学院クラブ

◇ 女子：山陰合同銀行 対 NTT東日本

観戦チケットは鳥取県バドミントン協会ホームページの「S/Jリーグ SPEED & POWER 2022」のバナーをご確認いただき、最寄りのスポーツ店でご購入ください。日本のA代表、B代表の選手たちのプレーを間近で見ることができる機会ですので、是非ご観戦いただけたらと思います。



### ～チケットに関する問い合わせ先～

【東部地区:鳥取市バドミントン協会】

鳥取市賀露町北3丁目20-23

濱橋 喜幸 携帯電話 090-4801-6141

【中部地区:倉吉市バドミントン協会】

倉吉市下田中町1021-1

長濱 洋次 携帯電話 080-6345-3186

【西部地区:米子市バドミントン協会】

米子市皆生5丁目13-76

植田 睦美 携帯電話 090-9061-5972

## 日本スポーツ協会公認バドミントンコーチ1 養成講習会開催

普及指導部長 松本 伸司

令和4年度日本スポーツ協会公認バドミントンコーチ1 養成講習会を8月27日（土）・28日（日）倉吉交流プラザ・北条体育館で実施しました。県内19名（内1名欠席）・県外7名、合計25名の受講者で、通信学習7時間、集合講習14時間を二日間で行いました。

集合講習14時間・検定試験2時間を二日間で行うには終了時間が19:00となり受講者の方にはかなりの負担となりますが、三日間の実施となれば更に負担となる事を考慮し、強行実施いたしました。

渡部講師の講義も受講者の方からは分かりやすいと評判も良く、各カリキュラムを何事も無く無事終了し、全員合格する事が出来ました。

今後の反省点としては、二日間同じ会場で実施出来ればもっとスムーズに開催が出来たのではないかと思います。

受講者の方々、お疲れ様でした。

### 令和4年度日本スポーツ協会公認バドミントンコーチ1 養成講習会 （専門科目）の実施風景

#### 1日目：倉吉交流プラザ研修室1 座学



#### 2日目：北条体育館 実技&検定試験



【カリキュラム3：初心者に対する指導】  
利き手でない手にラケットを持つ動作



【カリキュラム4・5：】ノックにおける  
フィーダーの役割・練習メニューの実際



## 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に出席して

強化副本部長 長濱洋次

栃木県立県北体育館を会場として、10月5日から10日にかけて第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」が開催されました。3年ぶりの国体となります。

鳥取県代表は花本大地監督のもと、林谷理貴・森田慎司・馬屋原光太郎の3選手が出場しました。

前回大会では5位入賞と輝かしい成績でしたので1回戦はシード。初戦となる2回戦では長崎県に勝った埼玉県との対戦となりました。団体戦故、試合進行が大幅に遅れ、タイムテーブルに対し2時間以上も待たされてのアリーナ入場。試合開始は18時でした。

この日の外気温は10℃。



屋外に設置された仮設テントの選手控室で、メンタル、フィジカルとも朝から万全のコンディショニングを維持するのは難しかったことと思います。納得できるパフォーマンスを発揮することもできず、0-2で敗れてしまいましたが、相手の

埼玉県は決勝まで勝ち進み準優勝でした。このことを考えると、優勝候補を相手に、皆さん、良く頑張ってくれました。

選手には今回の経験を糧に、技術ポテンシャルの更なるアップを期待するとともに、強化本部としても競技力向上に向けた強化事業を充実させていきたいと考えます。応援して下さった皆様、有難うございました。



初戦ダブルス：林谷選手/馬屋原選手



第1シングル森田選手